# 企業市民活動

# ニコンの企業市民活動

## 基本的な考え方

ニコングループは、良き企業市民でありたいと願い、社会や地域とともに発展するため、「ニコン企業市民活動方針」に基づき、主に次の世代を対象とした活動を推進しています。

**ニコン企業市民活動方針**

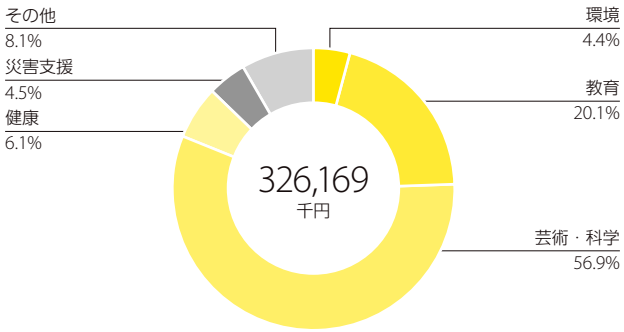
ニコンは、企業理念である「信頼と創造」を具現化するための行動の規準を示した「ニコン行動規範」において、社会貢献活動への参加を積極的に推進することを表明しています。
ニコンは、よき企業市民でありたいと願い、社会やコミュニティの一員として良好な関係を構築し、共に持続的に発展していくため、次の方針に基づき企業市民活動を行っていきます。

1. 「環境」「教育」「芸術・科学」「健康」を注力分野とし、主に、次の世代を対象とした活動に取り組みます。
2. ニコンの持つ技術やノウハウなどのリソースを効果的に活用していきます。
3. 公益の増進、社会課題の解決、学術の進歩や普及に取り組む組織（行政機関、教育機関、NGO・NPOなど）と協力関係を築き、連携を図ります。
4. 企業市民活動への従業員の参加を重視し、従業員による活動の機会をつくることに努めます。

## 体制

ニコングループでは、サステナビリティ委員会を中心としたサステナビリティ推進体制の中で、グループ全体の企業市民活動を推進しています。なお、年1回のニコングループ企業市民活動調査により、ニコングループ各社の取り組みが方針に沿っているかモニタリングし、その結果をサステナビリティ委員会に報告しています。さらに、寄付に関しては、内規に則ってニコングループの実態を仔細に把握し、取締役会に報告しています。

● 企業市民活動の支出額（2023年度）




### 企業市民活動への従業員参加

ニコングループでは、従業員が企業市民活動へ参画するための環境づくりに取り組んでいます。ニコンの「ボランティア休暇制度」のように制度によるサポートを行うとともに、従業員が参加しやすい活動を企画し、参加を呼びかけています。

● ニコングループの企業市民活動の従業員参加人数

| | |
|---|---|
| 2023年度実績（のべ） | 2,575名 |

## 主な取り組み

### 地球環境を次の世代へつなぐ

ニコングループでは、地球環境を次の世代へつなぐことをめざし、子どもたちへの環境啓発活動に取り組んでいます。

ニコンでは、生物多様性復元計画「赤谷プロジェクト」の支援の一環として、子どもたちに向けた冊子『赤谷ノート』を企画・制作して無償で配布しています。2023年度は、教育機関に150冊を配布しました。また、Nikon Europe B.V.では、国際環境教育NGOのFoundation for Environmental Education（FEE）のオランダ支部と協働し、ニコンの実体顕微鏡「ファーブル」を使った環境教育プログラム「Light on Small」を提供しています。2023年度は、オランダ国内の1,162名の子どもたちがこの教材を活用しました。日本のニコンビジョンでも、生きものの観察体験を通じて子どもたちに理科学習の楽しさや環境保全の大切さを伝える「いきもの観察DAY」と題した活動に取り組んでいます。2023年度は、年2回開催し、のべ220名の親子連れが参加しました。

生物多様性保全·復元への支援 ➡p.102

● ニコングループの環境啓発の取り組みに参加した子どもたち

| | |
|---|---|
| 2023年度実績 | 1,532名 |

携帯型実体顕微鏡「ファーブル ミニ」で海の生物観察をする「いきもの観察DAY」に参加した子どもたち。

## 子どもたちが将来を描くために

ニコングループでは、自社製品に関わりのある地域を中心に、経済的な理由で学校に通うことが困難な子どもたちの就学支援に取り組んでいます。

ニコン、Nikon (Thailand) Co., Ltd.、Nikon Lao Co., Ltd.の3社では、国際NGO を通じタイとラオスで奨学金を支給しています。タイでは、2023年度に中·高校生と大学生170名に奨学金を支給し、17年間の支給人数はのべ2,917名となりました。ラオスでは、毎年100名の中学生に奨学金を支給しており、10年間での支給人数はのべ1,000名となりました。また、国内ニコングループは、開発途上国の子どもたちの健康の向上とともに、通学のきっかけにつながる、国際連合世界食糧計画(国連WFP)の学校給食支援に協力しています。2023年度は、184名の1年間の通学を支えられる学校給食46,048食分に相当する1,381,452円を寄付しました。

● ニコングループの就学支援で学校に通えた子どもたち

| | |
|---|---|
| 2023年度実績 | 454名 |

タイの奨学金は公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、タイのシーカー・アジア財団を通じて支給しています。写真は、2023 年 6 月にタイのパヤオで実施された授与式の様子。

**Column**

### 日本から絵本を届ける活動～ラオス語絵本づくり

国内ニコングループでは、特定非営利活動法人ラオスのこども(Action with Lao Children、ALC)の「ラオス語絵本プロジェクト」に参加し、従業員のボランティアによる「ラオス語絵本づくり」に取り組んでいます。この取り組みは、日本語の絵本にラオス語の翻訳を貼り、ALC を通じてラオスの学校の図書室などへ絵本を届ける活動です。

ラオスでは、日本のように書籍や書店が多くなく、子どもたちが本に触れる機会が限られています。そこで、日本でできるラオスへの教育支援として2017年度から活動を始め、毎年、実施しています。2023年度は、41名の従業員が参加して105冊のラオス語の絵本を制作しました。これまで7年間取り組んできたのこの活動ではのべ477名の従業員が参加し、1,022冊の絵本をラオスに届けることができました。

2023 年度は、コロナ禍があけたこともあり、在宅で参加できる方法を残しつつも、集まって絵本づくりにも取り組みました。

## 未来を拓く次の世代を応援

ニコンは、写真文化発展への貢献のため1969年から国際写真コンテスト「ニコンフォトコンテスト」を主催してきました。このコンテストでは、年齢、国籍、経験、撮影機材のメーカーを問わず、表現者が伝えたいメッセージを共有する機会を時代の流れに沿った部門構成で提供し続けています。また、ニコンイメージングジャパンは、写真文化の普及・向上を目的に1968年に開設した写真展示場「ニコンサロン」の運営を続けています。「ニコンサロン」では、プロ・アマの壁を取り払い、企業戦略に影響されず、あらゆる分野の優れた作品の展示場として写真展本来の姿を追求するとともに、新進写真家による最も優れた作品展に対し「三木淳賞」を1999年から継続して贈呈するなど若手写真家支援活動に取り組んでいます。Nikon Imaging Korea Co., Ltd. でも、2008年から毎年、Parkgeonhi foundation が主催する「Daum Junior Photo Festival」に協賛し、写真に関心のある若者の才能を開発するプログラムをサポートするなど、海外グループ会社においても映像文化に関わる次世代を支援するさまざまな取り組みを行っています。

次世代の産業人材の育成では、ニコンは東京大学生産技術研究所に「ニコン 光・精密フロンティア寄付研究部門」を開設し、次代の光学産業をリードする技術者の育成に貢献するとともに、将来的に社会が求める価値を生み出すための研究テーマの創出をめざして活動しています。また、ラオス国立サバナケット大学でのニコン・JICA奨学金では、将来のラオスを支える人材育成の支援と併せ、日本語の分かる産業人材の育成のために日本語学科の教育環境の向上にも協力しています。海外グループ会社では、アディティブマニュファクチャリングの設計および製造を行う米国のMorf3D Inc. が、得意とする積層造形に関する大学生への講義のほか、技術者になるためのキャリア形成のあり方を学べる高校生向けのイベントなどに取り組んでいます。また、ドイツのNikon SLM Solutions AG は、地元のリューベック工科大学の学生フォーミュラレーシングチームのスポンサーとなり、学生たちの技術スキル向上のための支援を行っています。

### ● ニコングループの人材発掘・育成の取り組みに参加した人数

| | |
|---|---|
| 2023年度実績 | 18,137名 |

2022 ～ 2023 年に開催したニコンフォトコンテストの写真部門でグランプリを受賞した作品「Tears in the rain（雨の中の涙）」。

Nikon Imaging Korea Co., Ltd. が支援する「Daum Junior Photo Festival」に参加した若者たち。

2023 年 12 月、4 年ぶりにサバナケット大学で開催されたニコン・JICA 奨学金の授与式。

**Column**

## 国立高等専門学校の学生への奨学金を設立

ニコンは、2022年度に国立高等専門学校機構と協働して国立高専の学生向けの奨学金を設立し、2023年度に1期生となる40名を選考して奨学金の支給を開始しました。

この奨学金は、実践的･創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関である高等専門学校の学生を対象とすることで、ニコングループが2030年のありたい姿に掲げる「人と機械が共創する社会」をともに築いていく次世代が増えていくことを願うとともに、日本の将来の産業基盤を支える理工学系人材の育成に寄与していくことをめざしています。

ニコンは、奨学金の給付のみならず、奨学生たちとのコミュニケーションを図ることで学生たちを応援するとともに、学生たちが将来のキャリア形成に役立つ情報提供なども行っています。

2023 年 9 月開催の奨学金証書授与式に集まった国立高等専門学校の学生たち。

## 地域の幸せを未来に受け継ぐ

ニコングループでは、より良い地域を未来へ受け継ぐことを願い、地域の人々の幸せと健康に貢献する活動に取り組んでいます。

### Nikon India Private Limited

SOS Children's Villages of India の活動を通じて、社会的養護が必要な子どもたち72名に対する家庭養育環境の提供に貢献しています。また、Magic Bus India Foundation の Youth Skilling Program を通じて、NEET（Not in Education, Employment, or Training）の若者約150名の雇用機会創出や技能開発支援に貢献しています。

Nikon India Private Limited の寄付により、SOS Children's Villages of India が支援する社会的養護が必要な子どもたち。

### Nikon Europe B.V.

慢性疾患を抱える子どもたちとその家族を招いて野外で楽しいアクティビティを提供するKinder Beest Feest のイベントをサポートしました。従業員が写真撮影と顕微鏡観察の2つのブースを運営し、記念写真のプレゼント、子どもたちに顕微鏡による観察体験を提供しました。

イベントで慢性疾患を抱える子どもとご家族の記念写真を撮影する Nikon Europe B.V. のスタッフ。

### Nikon Precision Taiwan Ltd.

福祉団体や児童養護施設に対し、2010年度から毎年、寄付による支援を行っており、従業員にも呼びかけて不用となった物品の寄贈にも取り組んでいます。

2023 年度の寄贈では、地域の障がい者施設に対して不用となったモニター、PC、携帯などを届けました。

## Nikon Canada Inc.

毎年、ホリデーシーズンに、恵まれない子どもたちのためにトイドライブを実施しています。このチャリティーイベントは、従業員の惜しみない貢献により年々規模を拡大しています。

従業員たちがトイドライブに持ち寄ったプレゼント。

## Nikon India Private Limited

インド有数の眼科医療機関の眼科助手養成プログラムに支援しました。いまだ、インドでは白内障等治療可能な疾病による失明が少なくないために、コミュニティから疎外されがちな若い女性を対象に眼科医療の基礎スキルを身に付けてもらい各地に配置することで、初期診断のできる眼科の専門家のリソース不足解消と女性のエンパワーメントを促進しています。2023年度は40人の眼科助手育成につながる支援を行いました。

Nikon India Private Limited の支援による、眼科助手育成のための講習の様子。

## Nikon Europe B.V.

Nikon Europe B.V. フランス支店では、ハンディキャップの実情や障がいのある学生の姿を伝える学生動画コンテスト「Tous HanScène」に2017年から協賛しています。

コンテストは障がいのある若者の学ぶ機会の拡大を目的に開催されている。

## Nikon Imaging Korea Co., Ltd.

Nikon Imaging Korea Co., Ltd. では、2023年度から社内で「CSRクルー」の募集を開始し、社内でのCSR推進やボランティア活動に取り組みました。ボランティア活動では、経済的に困窮している家庭に対し、冬場の暖房装置に使う練炭の配布を行いました。

約 20 名のボランティアが 10 家庭に練炭を配布しました。

## Nikon Precision Inc. / Nikon Research Corporation of America

Nikon Precision Inc. と Nikon Research Corporation of America では、従業員によるボランティア活動を推進しています。このボランティア活動では、毎年、フードバンク活動に協力しており、地域の経済的に困窮している家庭を支援しています。

地域のフードバンクの活動に協力する同社の従業員たち。